

平成 30 年 5 月吉日

一般社団法人 日本応用地質学会
フィールドの達人企画委員会

「平成 30 年度 応用地質技術実践講座」開催のお知らせ

拝啓

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日本応用地質学会ならびにフィールドの達人企画委員会では、技術の伝承や若手技術者の現場を中心とした地質調査・解析技術能力の向上を目的として、平成 26 年度から「応用地質技術実践講座」を企画・開催しております。実践講座のテーマは応用地質技術に深く関わる「地下水」「土木地質(岩盤分類)」「地すべり」「地形」の 4 つに分類し、毎年テーマを変えていずれも調査解析技術・手法について議論を深めて各テーマの根幹となる考え方を実践的に学び、講座参加者から好評を得ることができています。講座のテーマも昨年度で一巡し、平成 30 年度は「地下水」をテーマに開催いたします。

地下水は目で見ることができないため水質分析や数値解析でその特性を考えることとなりますが、地下水が存在するその器たる地質・地盤(数値解析の前提条件となる地下水流動の場)について正しく理解することが重要です。そもそも地下水とは何か、地下水はなぜ流れるのか、などの基本的な事項を自然科学の立場からのアプローチで原理原則に基づく地下水の基礎を分かりやすく講義するとともに、実務担当者による事例を踏まえた地下水流動系の考え方の根幹を伝授できるようなプログラムを予定しています。また、座学および現場研修の一部では当学会の地下水研究部会のメンバーが担当します。机上の講義だけでなく講座参加者の実務に活かせるべく、実践的に役立つものにしたいと考えています。

つきましては、この好機をとらえまして、貴社技術職員の積極的な参加をいただきたく、ご案内申し上げます。

敬具

1. 日 時：第 1 回(座学)・・・7月 20 日(金)
第 2 回(現地実習)・・・9月 20(木)～22 日(土)
第 3 回(座学)・・・11 月 2 日(金)
2. 場 所：
座 学：八千代エンジニアリング(株) 東京都台東区浅草橋 5-20-8 17 階会議室
現場研修：富山県庄川扇状地周辺で調整中
3. 目 的：技術の伝承、若手技術者の現場を中心とした地質調査・解析技術能力の向上
4. 定 員：20 ～ 30 名(すべての回に参加できる方に限ります)
5. 募集対象：実務経験 5～10 年程度の方、地下水流動に興味のある方を対象とします。
6. 参 加 費：30,000 円(資料代、講師謝礼等経費、現場研修会議費等)
講座参加費は第 1 回開催時に徴収します。やむを得ない事情にて途中欠席された場合の返金はありません。
現場研修にかかる移動費用や宿泊費等で 25,000 円程度を別途予定しています。なお、現場研修は北陸新幹線新高岡駅集合予定です。新高岡駅までの交通費は各自でご負担願います(詳細行程は後日お知らせします)。
7. 申込締切：平成 30 年 6 月 22 日(金)
申込人数が定員になった場合は、その時点で締め切らせていただきます。
8. 申込方法：申込用紙に所定の事項をご記入の上、E-mail でお申し込み込み下さい。
9. C P D：日本応用地質学会または Geo-SchoolingNet にて登録、発行予定。
10. 申込・問い合わせ先：
八千代エンジニアリング(株) 磯村 敬
〒111-8648 東京都台東区浅草橋 5-20-8
E-mail:tk-isomura@yachiyo-eng.co.jp
TEL :03-5822-2384
FAX :03-5822-2799

応用地質技術実践講座 参加申込書 E-mail^注添付用

・送付先：(事務局) E-mail : tk-isomura@yachiyo-eng.co.jp TEL : 03-5822-2384 FAX : 03-5822-2799

注：E-mail が使用できない場合は FAX にてご送信ください。
 その際は、お手数ですが送信後、TEL にて事務局に着信確認を依頼してください。

参加者氏名(フリガナ)		性別		男・女	
所属機関 所属部署		業務経験 年数			
最終学歴	大学院・大学・短大・高専・高校	学校での 専門分野	地質系・地球物理系・土質系 環境系・地下水系・土木系 その他()		
日本応用地質学会の会員		個人正会員 ・ 入会希望 ・ 非会員			
所属先情報	住所	〒			
	TEL 番号 FAX 番号 E-mail	内線()			
	携帯番号	(緊急時のみ使用)			
	7月20日の意見交換会の参加 (参加費：4,000円)		参加 ・ 不参加		
備考	(何かあればお書きください)				

定員が少ないため、1社で2～3名程度までとさせていただきます。申込用紙は各人一枚ずつ。

個人情報は保険加入に使用し、そのほかの目的では使用しません。

※定員になり次第申し込みを締め切らせていただきますのであらかじめご了承ください。

申込み締め切り：平成30年6月22日(金)

【実践講座の内容】

第1回 室内座学(会場 八千代エンジニアリング：東京) 7月20日(金)

タイムスケジュール		講義内容	講師
9:50~10:00		講座の開催にあたって	大石 朗 フィールドの達人 企画委員会 委員長
10:00~11:30	1.5h	地下水流動の基礎	石川昌信 (日本工営)
11:30~12:15	0.75h	昼食休憩	—
12:15~14:15	2.0h	未固結砂礫における自由地下水の流動系	山本 晃 (八千代エンジニアリング)
14:15~15:15	1.0h	岩盤内部における地下水流動系	石川昌信 (日本工営)
15:15~15:30	0.25h	休憩	
15:30~16:30	1.0h	地下水質の基礎	長谷川怜思 (八千代エンジニアリング)
16:30~17:15	0.75h	現地実習に向けたガイダンス	齋藤 庸 (日本工営)
17:30~		意見交換会	—

※講義の概要

石川氏：午前の講義では、目に見えない地下水を観るための可視化技術を中心に地下水の特性、地下水の賦存形態、地下水が流れる原理(地下水流動三則)を説明し、ポテンシャル流れの事例紹介を行います。また、地下水の流れを観る地下水流動調査法として、湧水点踏査、水位観測、流量調査を紹介し、地下水の流れる方向を作図する演習を行います。午後の講義では岩盤内部の地下水について、事例をもとに紹介します。

山本氏：複合扇状地からなる長野県松本盆地に位置する安曇野市を対象に、砂礫層中の自由地下水の涵養・流動・流出メカニズムを事例紹介します。紹介においては、降水量、土地利用、地下水利用を踏まえた水収支のほか、これを裏付ける酸素・水素同位体、流出域での流量一斉観測結果を示します。また、トリチウム、六フッ化硫黄およびクロロフルオロカーボン類を用いた地下水流動年代、長期的な降水量・土地・水利用・地下水位・湧出量変化等から、安曇野市を含む松本盆地の過去から現在の地下水賦存量の変化を示すとともに、地下水保全の方向性の合意形成ツールとして活用した地下水解析の考え方を示します。その他、他地域における過剰施肥が原因の硝酸性窒素による地下水汚濁事例を紹介します。

長谷川氏：地下水調査や水文調査では、「水循環や流動系の把握・検証」「地下水の滞留時間の推定」「水利用時の適否判定や管理基準への適合評価」といった目的に応じて様々な水質分析を実施します。この講義では、主に「水循環や流動系の把握・検証」のために実施される簡易水質、無機溶存イオン、安定同位体にクローズアップし、測定の意義や採水、検討・解析時の留意点について説明します。

第2回 現地実習(富山県砺波市周辺) 9月20~22日(2泊3日)

宿泊施設：夢の平コスモス荘

富山県砺波市五谷 160

Tel : 0763-37-2323

初日：

昼ごろに新高岡駅に集合 班別にレンタカーでの移動を予定

宿泊施設にて講義

タイムスケジュール		講義の内容	講師
15:00~16:30	1.5h	水質、同位体についての講義を予定	林 武司 (秋田大学)
16:30~18:00	1.5h	水温についての講義を予定	宮越昭暢 (産業技術総合研究所)
19:30~		夕食兼懇親会	—

2日目：

宿舎発(8:30)→現地実習→宿舎(18時頃までに)

現地実習の内容：地下水のポテンシャル測定(層別観測井、民間浅井戸)

簡易水質の測定、採水、分析(民間浅井戸)

地下水水温の測定(層別観測井、民間浅井戸)

3日目：

宿舎発(8:30)→現地実習→宿舎(12時頃、現地の総括)→新高岡駅解散(16時頃)

※現在調整中のため、内容は変更となることもあります。

第3回 室内座学(会場 八千代エンジニアリング：東京) 11月2日(金)

現地調査のとりまとめと全体の総括

以上